

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善プランの成果と課題

〈成果〉

読譜に必要な基礎的な知識が身に付いてきたことで、歌唱の学習では記号や音価から作曲者の思いや意図を考えながら取り組むことができるようになった。

〈課題〉

楽曲のよさやおもしろさを感じ取って表現したり鑑賞したりすることはできているが、その楽曲を形づくっている要素を結び付けて思考し、どのように表現したり鑑賞したりしたらよいのかを考え深めることができていない。

2 授業改善のポイント

音楽を形づくっている要素と結び付けながら、音楽の見方・考え方を広げ深めていけるようにするために

低学年	音楽を聴いたり表現したりして、拍の流れを感じ取り、音楽的感覚を育てるようにする。 曲想を考え、曲想に合った歌い方や演奏の仕方を工夫し音楽を通して表現できる実践的学習を行う。
中学年	常時活動に、リズム打ちやフラッシュカードを活用した階名読み、記号読みを取り入れ、読譜力を養う。既習の音楽用語や音楽の要素を、こどもたち自身が言葉にして学習を進めていけるよう教室にも掲示し、授業内でも意図的に使う。
高学年	授業内の発表の中で、友達の表現の工夫やよさに気付かせる。音楽の特徴や詩の内容から、自分で要素を選択した上で、演奏の工夫を考えさせるようにする。